



新会長・副会長を紹介

みんなで創る 伊敷中学校

第75代生徒会役員選挙行われる

翌 檜 新聞



志 寛 錬

第8号
2020.9.29
第74代
伊敷中生徒会



9月12日(土)、第75代生徒会役員立会演説会が行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、ZOOMによる



実施となりました。立候補したのは、一年生9名、二年生8名。画面の先にいる全校生徒にそれぞれの思いを訴えました。



立候補者は、9月3日から、朝のあいさつ運動を中心に選挙活動をしてきました。同日にあった学年朝会では、生徒の前で直接自分の

思いを伝える機会がありました。また、選挙管理委員会からは「立候補者の考え」の資料が配られ、投票する生徒もそれぞれの立候補者の考えをよく理解し、投票に臨むことができたのではないかと思います。立会演説・

生徒会会長
二年二組 峯 浩 泰志
発表される前は、緊張して、はしを持つ手が震えていました。小学6年生で、体験入学で伊敷中に来たときに見たソシオドラマが生徒会に興味をもったきっかけです。みんなが心から楽しめる学校にしていきたいと思っています。

生徒会副会長
一年一組 新地 勇太
兄が代議員をしており、自分も集団をまとめる経験をしてみたいと思います。立候補しました。みんなが学校生活を楽しくするように、全校生徒にアンケートをしたり、目安箱を設置したりし

生徒会副会長
一年一組 田代 紅愛
「中国救う大作戦」を見たことが生徒会に興味をもったきっかけです。まずは仕事を理解して、会長をサポートしたいです。うまくいかないこともあるかと思いますが、自分にできることを精一杯頑張るので、よろしくお願いします。

投票後、選挙管理委員会により開票作業が行われ、9月14日(月)に選挙管理委員長の時元翔太くんから当選者が発表されました。第75代生徒会の活動は10

月26日から始まります。前期の活動も残り一か月。い形で前期の活動を終えることができるようにしましょう。(牟禮こころ)

御主を知ろう

伊敷中学校では、一年生の総合的な学習の時間で「郷土」について学習します。みなさんは、私たちの住む鹿兒島には、私たちが知らないことを知っていますか。県内外問わず、多くの方々が鹿兒島への関心をもち、その素晴らしさを実感していただくことを目的に鹿兒島商工会議所では「かごしま検定」を実施しているそうです。「かごしま検定」の過去の問題の中から三問出題してみました。お答えください。

【第一問】西郷隆盛と大久保利通が対立するきっかけとなったのは次のどれか。
① 私立学校の創設
② 征韓論
③ 廃藩置県

【第二問】鹿兒島県で収穫量が全国一位でない農作物は次のどれか。



上緑学年の一年時の劇ミニサイコー下赤学年一年時の劇大島船を紡ぐ様子の写真

【第三問】鹿兒島市から最も遠いのは次のどこか。
① さやえんどう
② そらまめ
③ 札幌
④ 上海
⑤ 台北
みなさんはどれくらいできましたか。自分の住む地域のことも学んでいきたいですね。(末永 諒馬)

実習生が見る伊敷中

9月8日(火)に教育実習生の紹介式がありました。その後、各学級で実習の先生方との授業が始まりました。三年二組を担当している今堀成美先生は、「伊敷中の生徒は真面目に授業を受けていると感じます。しかし、楽しむところはしっかり楽しんでると思います。」と話していました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、教育実習の期間も短くなっているそうです。実習の先生方と授業をするのも残りわずかです。お互いに充実した時間が過ごせるようにしていきたいでしょう。(迫 千陽)

生徒会の窓

みなさんは伊敷中のことが好きですか。今号の翌檜新聞では、伊敷中生徒会にアンケートをしました。その結果、約半数の人が大好き・好きと答えていました。第74代生徒会スローガンは「We love 伊敷」想像して創造する〜です。私たち第74代生徒会役員は、伊敷中生徒全員が、愛してくれるような学校をみんなで創り上げたいという思いをもって、生徒会活動に取り組んできました。その思いがみなさんに届く一年だったでしょうか。私は伊敷中のことがとても大好きです。元気のよい挨拶も、自ら気付き進んで行動できることも、伝統を大切に引き継いでいこうとするところも、たくさん好きなのがあります。また、伊敷中の卒業生に話を聞くと、伊敷中のことが大好きという卒業生が多いような気がします。アンケートでは、厳しい校則が嫌いという意見もありましたが、それもこれからの人生に役に立つという話も聞きます。大変なことも多いけど、大変なことを乗り越えていくからこそ、伊敷中が大切なものになっていくのかもしれないですね。前期も残り少なくなりましたが、最後まで「We love 伊敷」を目指していきたいです。(牟禮こころ)

頼もしいリーダーとは

リーダー研修会

8月25日(火)に、一、二年生の学級代表と生徒会役員が参加し、校内リーダー研修会が行われました。このリーダー研修会は、リーダーとして必要な資質を養うことを目的としています。今回のリーダー研修会では、話し合いに必要な話す力・聴く力・話し合う力について学びました。また、学級で行う班長会や、話し合いをよりよいものにするために必

要な考え方や工夫を知ることができました。この会に参加した一年五組の羽山恋志朗さんは、「初めての参加で緊張しましたが、僕が苦手とする話し合う力」を育成できました。分らないところがあつたときに先輩方が優しく教えてくださいました。僕もこんな中学生を目指そうと思えました。この会で学んだことを生かした話し合いや専門部活動を行っていきたいです。」と話してい



ました。生徒会役員は、この会がそれぞれの学級の生徒会活動がうまくいくきっかけにしてほしいと、夏休みから準備に取り組んできました。会に参加したみなさんはここで学んだことをクラスメイトに伝え、学級

の活動で生かしてみてください。また、特に実践してほしいものは「班長会」です。班長たちの意識を高める取組として試してみてください。

よい集団は、リーダーだけの力では創れません。一人一人の力が不可欠だからです。一人一人がみんなのために動くという気持ちをもって日々の学校生活や一人一役に取り組みましょう。

(武 大叶)

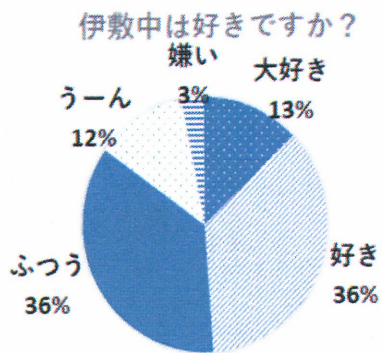
あなたは伊敷中が好きですか？

第74代生徒会も残り1か月あまりとなりました。第74代生徒会のスローガンは「We love伊敷」。第74代生徒会は、みんなに愛される伊敷中を目指して活動してきました。みなさんは、伊敷中が好きですか。

各学年25名に「どのくらい伊敷中が好きですか？」とアンケートを行いました。

結果は、下のとおりです。

大好き：13% 好き：36% 普通：36% うーん：12% 嫌い：3%



大好き理由は「挨拶が活発だから、みんな仲が良いから」という意見が多かったです。一方で嫌いの理由は、「校則が厳しい」という意見がほとんどでした。全員が伊敷中のことが大好きになるために、生徒会役員は日々活動をしています。みなさんもアドバイスや意見がある場合は、意見箱などを活用してみてください。調査に協力してくださった皆さん、ありがとうございました。



学校行事をつなげていこう

伊敷中学校には様々な行事があります。新型コロナウイルス感染症の影響を心配しましたが、一学期は音楽コンクールをすることが

できました。音楽コンクールを成功させるために活躍してくれたプロジェクトメンバーの三年二組の山口大佑くんは、「全員が目標を

もって一回一回の練習を本気で取り組むことができた。」と話していました。また指揮者賞を受賞した二年三組の平山晴海さんは、「みんな



中学校最後の音楽コンクールに臨む三年生

今年の体育大会では、目指す姿がルーブリック表に表されました。自分たちの姿を振り返り、次の文化祭につなげていくことが必要です。一つ一つの行事をそれぞれで終わらせることなく、つなげていくことを意識していきましょう。

これからの先の学校生活もたくさん行事があります。学級、学年で団結することで最高のものを創りあげましょう。

ISOは何？

前回のISOでは、「マネジメントシステム」について説明しました。いよいよ伊敷中でも採用しているISO、環境マネジメントシステムについてです。

環境マネジメントシステムとは、環境へのリスクや機会に対して「どのような取組を行い、環境に対するよい影響を増大させ、悪い影響を減少させるか」ということを計画、実行し、成果を検証し、改善していくための仕組みです。伊敷中では美化班の活動である、節電・節水などの取組があげられます。また、学級で必要になったプリントはまとめて資源回収に出すようにしています。取組は行っていますが、「検証し、改善する」という取組ができていないところが伊敷中の課題です。みなさんも学級専門班会の中で、美化班を中心に環境への取組を振り返ってみてください。

(武 大叶)

編集後記

今回の翌檜新聞のトップ記事は生徒会選挙でした。新しい会長・副会長も決まりました。もうすぐ後期が始まります。前期の残りの期間も最後まで「We love伊敷」を目指していきましょう。

(武 大叶)